

**平成30年度の事業計画書**  
**特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋**  
**第十六期事業計画書**

I 事業期間

平成30年6月1日～平成31年5月31日

II 事業実施方針

当法人が拠点とする釜ヶ崎の変化は著しく、おそらく今期もその変化は加速するだろう。高齢化で亡くなる人がふえ、街は観光産業を発展させるだろう。当法人そこに真剣に立ち会い、「であいと表現の場」をつくりつづける。

3年目をむかえたゲストハウス事業を軌道にのせることで運営基盤を整え、表現を軸に、地域に根ざす活動をコツコツとつづけていきたい。まちの変化にともない、アートNPOとして、人々の存在と記憶をつなぐこと、記録することを意識的に行う。地域にどのように関わることができるかを実践し考察する。2020年の東京オリンピックを契機とするアート及び文化政策において、地域に根ざし人権と表現について考え活動する団体の世界のネットワーキングに努める。

2012年より取り組んでいる「釜ヶ崎芸術大学」は第7期をむかえる。参加者の希望の多さやニーズの高さ、地域やメディアからの注目もあるが、じっさいには地域の参加者の高齢化により、釜ヶ崎在住の参加者は減少傾向にある。このまちにおける看取りや、記憶をつなぐといった、人間存在のあり方をふかめていくことになる。釜芸の担う一つの役割は外部からの参加者がこれまで訪れることのなかった釜ヶ崎に足を踏み入れ、景色や人と出会い、空気を吸うこと。こうした機会づくりが、記憶・記録につながると捉え、その醸成を考えたい。また参加者から運営者へと主体性を発揮しはじめたアーツマネジメントプロフェッショナルチームのさらなる展開が見込まれる。大阪大学と連携した講座作り、釜のおじさんが先生となる「からくり人形ゼミ」など、釜芸のインパクトは年々高まっていることを契機に釜芸の社会的インパクトや汎用性を研究したいと考えている。大学院・美学学会についても、聴き取りを中心としたプロジェクトに発展させたい。

事業費の調達については、ゲストハウス事業の安定的運営をみだしつつ、アーツマネジメント事業の助成金申請などはひきつづき行う。釜芸寄付講座、賛助会員の獲得など、例年とおなじくしていねいに取り組んでいく。他の団体との連携を通じ、スタッフを派遣するなど、スタッフの育成と同時に当団体の視野を広げることに注力していく。

地域のNPOと協働する連合体「ひと花センター」事業、まちかど保健室、夜回りなど、地域での活動についても地道に継続し、まちにおけるアートの領域拡大の社会化についても深めていきたい。

「大阪でアーツカウンスルを考える会」のコアメンバーが大阪を離れ、この活動は停滞している。ちいさくとも大阪での文化政策について語り合える場を他団体とも協力し、つくりつづける。

ホテルやゲストハウスが乱立するこの地域でゲストハウス事業は挑戦であるが、制度を活用せず、独自事業をつらぬく活動は類をみないものである。無謀ゆえの困難はあるが、スタッフ、理事やまわりの関係者、応援者とともに、地域に根ざした表現の場をひらきつづけることの、社会的インパクトを表していきたい。

変わりゆく釜ヶ崎の10年後20年後をみすえ、これまでの経験と学びをいかす事業の準備もすこしづつすすめたいと考えている。より一層多様なセクターや分野と関わりあうことが予想されるため、その体力をつける時期と考えている。

III 事業の計画

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[事業名] 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[内 容] カフェと庭の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、

アートによるつながりづくりを実施する

[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム

[実施日時] 6月～5月、7時30分から22時00分

[事業の対象者] 一般市民

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[事業名] 交流スペース及び市民相談窓口管理事業  
[内 容] カフェと庭の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、  
アートによるつながりづくりを実施する  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム  
[実施日時] 6月～5月、7時30分から22時00分  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] \ 500,000円 (内訳 事業収入 500,000円)  
[支 出] ￥ 500,000円 (内訳 消耗品費 100,000円、水道光熱費 200,000円、諸  
会費 15,000円、交際費 20,000円、租税公課 165,000円)

(2) 調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

[事業名] 出版事業  
[内 容] 上田假奈代著『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』の出版  
[実施場所] 国内全域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 500,000円 (内訳 事業収入 500,000円)  
[支 出] ￥ 405,000円 (内訳 売上原価 340,000円、通信費 20,000円、図書  
費 10,000円、租税公課 35,000円)

(3) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

[事業名] まちかど保健室  
[内 容] 釜ヶ崎地域の人向けに無料の健康相談会（血圧と歯科相談）を月1回継続して行う。健康の不安をさくことは日常生活の基礎部分を支えることにつながり、生活の中の悩みをさくさくきかけともなる  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム玄関  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 34,000円(内訳 助成金 34,000円)  
[支 出] ￥ 34,000円 (内訳 謝金 20,000円 広報費 14,000円)

(4) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

[事業名] 釜ヶ崎まち案内  
[内 容] 釜ヶ崎のまちを歩きながら歴史や現状について、一般市民を対象として水野阿修羅さんにまち案内をしてもらう。  
[実施場所] 釜ヶ崎地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 70,000円 (内訳 参加費70,000円)  
[支 出] ￥ 70,000円 (内訳 旅費交通費 50,000円 人件費 20,000円)

(5) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「釜ヶ崎芸術大学」事業  
[内 容] 釜ヶ崎地域を大学にみたくて、さまざまな講座を開催する。誰もが集い学び合える場と機会を創出する。  
[実施場所] 釜ヶ崎地域など  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民、企業、NPOなど  
[収 入] ￥ 5,000,000円 (内訳 助成金 4,780,000円 参加費 220,000円)  
[支 出] ￥ 12,977,000円 (内訳 謝金 1,900,000円 事務用品費 70,000円、印刷製  
本費 5,000,000円、通信費 280,000円、旅費交通費 1,250,000円、会場費 88,000円、人件  
費 3,000,000円 広報費 1,136,000円、外注費 50,000円、制作費 200,000円、会議費 3,000  
円)

(6) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「詩の学校」事業  
[内 容] 月に1回、一般市民を対象として上田假奈代の「詩の学校」を開催。  
[実施場所] 應典院  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥96,000円 (内訳 参加費 96,000円)  
[支 出] ￥12,000円 (内訳 会場費 12,000円)

(7) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業

[事業名] 「ひと花プロジェクト」事業  
[内 容] 西成区の単身高齢生活保護受給者のためのつながりづくり事業への参画および、表現プログラムのコーディネーター、就労体験受け入れ  
[実施場所] 地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] ひと花センター登録者及び一般市民

(7) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業  
[事業名] 「ひと花プロジェクト」事業  
[内 容] 西成区の単身高齢生活保護受給者のためのつながりづくり事業への参画および、表現プログラムのコーディネート、就労体験受け入れ  
[実施場所] 地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] ひと花センター登録者及び一般市民  
[収 入] ￥ 600,000円 (内訳 事業収入600,000円)  
[支 出] ￥ 600,000円 (内訳 人件費 600,000円)

(8) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業  
[事業名] 「ライフサポート路木」事業  
[内 容] ライフサポート路木と連携し、高齢者・障がい者が社会とつながる機会と安心して生活できる場をつくるための生活サポートなど  
[実施場所] 地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 支援ハウス路木住民及び一般市民  
[収 入] ￥ 600,000円 (内訳 事業収入600,000円)  
[支 出] ￥ 600,000円 (内訳 人件費 600,000円)

(9) 包摂型就労支援事業  
[事業名] 就労体験受け入れ  
[内 容] コネクションズおおさか等と連携し、働くことに不安を抱える若者に就労体験の場を提供する  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム  
[実施日時] 6月～5月、随時実施  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] \ 10,000円 (内訳 事業収入10,000円)  
[支 出] \ 0

(10) カフェ事業  
[事業名] カフェ事業  
[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのカフェ事業  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム  
[実施日時] 6月～5月、7時30分から21時30分  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥7,000,000円 (内訳 事業収入7,000,000円)  
[支 出] ￥3,860,000円 (内訳 人件費 1,800,000円、売上原価 1,760,000円、消耗品費 100,000円、雑費200,000)

(11) ゲストハウス事業  
[事業名] ゲストハウス事業  
[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのゲストハウス事業  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥15,000,000円 (内訳 事業収入 15,000,000円)  
[支 出] ￥14,805,178円 (内訳 人件費 4,030,000円、消耗品費 800,000円、事務用品費 30,000円、水道光熱費 800,000円、通信費 500,000円、諸会費 55,000円、旅費交通費 200,000円、謝金 80,000円、報酬100,000円、管理費 250,000円、家賃6,000,000円、支払手数料 550,178円、修繕費 10,000円、広報 150,000円、租税公課 250,000円、減価償却費 100,000円、リネンクリーニング費 800,000円、雑費100,000)